

日 時： 令和 4 年 12 月 2 日（金）12:00～13:00

場 所： 名古屋大学研究所共同館Ⅱ・409 室（地球水循環共用室）、およびオンライン会場

出席者： 伊勢武史，市井和仁，植山雅仁，熊谷朝臣，佐藤永，須藤健悟，高梨聡，仁科一哉，
林健太郎，檜山哲哉，平野高司，持田陸宏，村岡裕由，山崎剛（以上 敬称略・五十
音順）

欠席者： 加藤知道，三枝信子，谷晃（敬称略）

配付資料： 議事次第に記載あり

議事進行

(1) 議事要旨の提出に関する佐藤委員長一任について

- ・ 異議無し

(2) 報告事項 [議事次第の(2)～(4)]

- ・ iLEAPS 国際プロジェクトオフィスにおいて“iLEAPS Roadmap”の作成に取り組んでいる。長らく作業が停滞していたが、Global Sustainability 誌の Future Earth 特集号に投稿する段取りが整い、現在原稿の改訂作業中。
- ・ 国際運営委員会から頻りに届くメール類で、委員の興味の引きそうなものは転送してきた。前回の話し合いの結果に基づいて、以下のカテゴリー別に情報担当者を決め、協力いただいている（カーボンニュートラル関係：伊勢委員、陸域生態関係：仁科委員、大気科学関係：須藤委員）。当面、この体制で情報の展開を行いたい。
- ・ iLEAPS 日本委員会承認プロジェクト第 2 号となった「静止気象衛星観測網による超高時間分解能陸域環境変動モニタリング国際研究拠点」について市井委員より報告。
- ・ iLEAPS 日本委員会承認プロジェクト第 3 号となった「Sustain-able プロジェクト」について林委員から報告。実際のメンバーは、当初より増えているとのこと。
檜山委員：国際的な連携関係はどのようになっているのか？
林委員：International Nitrogen Management System (INMS)からも認証をもらい、政策方面においても国際人的交流を開始している。また、International Nitrogen Initiative (INI)の東アジア担当ディレクターに林が着任して、その方面でも連携を構築している。

(3) 協議事項（今後の iLEAPS 日本委員会の活動について）

- ・ 日本地球惑星科学連合において iLEAPS の存在感を高めることを目的に、佐藤委員長は当連合の代議員に立候補し、本小委員会の皆さまのお力添えで当選した（任期は 2022～2023 年度）。

現在、任期の半ばに差し掛かっているが、学会企画への影響力をより高めるため、日本生態学会の大会企画委員会シンポジウム部会員に佐藤委員長が立候補した。iLEAPS 日本小委員会が公認した大型プロジェクトのリーダー各位は、ぜひ成果が上がってくるタイミングで、日本生態学会大会にてシンポジウムを企画していただきたい。

- 本小委員会を開催する直前に、iLEAPS 国内ワークショップが無事完了した。延べ参加者 44 名、うち半分がオンサイト参加と、なかなか盛況であったため、できれば次年度も開催したい。現在、名古屋大学宇宙地球環境研究所から研究集会助成金の公募が出ているので（応募〆切は来年 1 月 15 日）、こちらへ応募したい。なお、この助成金で開催する研究集会であっても、何らかの理由が提示できれば名古屋大学外で主催することが可能とのこと。一度、関連分野の学生・ポストクの多い北海道大学で開催してはどうだろう。→異議が出なかったので、この方向で調整する。

(4) その他 (iLEAPS-Japan のウェブサイトについて)

- 佐藤委員長からの提案：iLEAPS-Japan のウェブサイトを国環研のサーバーに移す準備を開始する。その際に、必要となる諸手続きは、仁科委員（国環研）が担当する。コンテンツの更新などは、これまで通り佐藤委員長が担当するが、更新したファイルを NIES サーバーに上げるためには、NIES 内部からの接続が必要になるため、年に最大 5 回ほどファイルのアップロードを仁科委員に依頼する。
- 経緯：iLEAPS-Japan のウェブサイトは AsiaFlux の外部公開サーバーに間借りしている。ただし、独自 URL 「ileaps-japan.org」の確保のため年間 2000 円ほどかかっている。そのため、以前の協議にて、第 25 期中にパーマネント的に運営できるサイトへの移設を検討すると決議された。そこで、佐藤委員長から学術会議に小委員会のウェブサイト運営への支援を得られないかと打診したが、対応していないとの回答だった。そして三枝委員から、国環研への移転を勧められた。
- 特に異論が出なかったため、委員長提案の通りに、iLEAPS ウェブサイトの移転に向けた段取りを進める。

以 上